

1 日時 平成17年3月23日(水) 14:00~16:30

2 場所 甲府地方裁判所

3 出席者

(委員・五十音順)

飯村委員, 飯野委員, 稲葉委員, 小野寺委員, 加藤委員, 川島委員, 小林委員, 高野委員, 竹野委員, 松島委員, 丸山委員, 向山委員

(甲府地方裁判所)

井田事務局長, 浅野事務局次長, 中嶋地裁総務課長, 鈴木家裁総務課長, 古山 民事首席書記官, 松本刑事首席書記官, 石上総務課課長補佐(書記), 小澤庶務係長(書記)

4 議事等

(1) 新委員の自己紹介

(2) 委員長の選出

第1回の委員会時にも意見を出したとおり, 法曹以外の者が委員長になった方がいいのではないかと。委員長が地裁所長でない地裁委員会の例もある。要するに活発な議論ができることが前提である。もっとも, 各委員に異論がなければ, 地裁所長が委員長でもよろしいが。

(進行役)

他の委員に異論がないようなので, 所長を委員長とさせていただきたい。

(委員から拍手あり)

(3) 第5回委員会の進行について

ア 裁判員裁判の模擬ビデオ視聴

イ 裁判員制度の概要説明(川島委員)

ウ 裁判員裁判の模擬ビデオを視聴した感想及び意見は別紙のとおり。

5 次回委員会のテーマについて

「裁判員制度」について, 模擬ビデオを視聴した結果, さまざまな感想が出されたが, 次回は, 今回の感想及び意見をふまえて, 裁判員制度の趣旨や意義についての説明をするほか, さらなる意見交換等を行う予定とした。

6 次回委員会期日

次回(第6回)期日を平成17年7月7日(木)午後2時からとした。

(別紙)

裁判員裁判の模擬ビデオを視聴した感想及び意見

どのような理由により, どのようなメリットを考へて, 裁判員制度が導入されたのか。どういう時代的な背景で, 裁判員制度が導入されたのか。裁判員裁判に対する理解や信頼を得るためには, その点についてのわかりやすい説明が必要である。

模擬ビデオにおける裁判員選任手続で, 裁判員からの選任の辞退申出を裁判所が拒否した場面があったが, 裁判所が, 強権的に決めているという印象を受けた。また, 裁判員候補者が繁忙であるという理由を述べたことに対して辞退を認めないとした点について, 候補者の実情に対する理解が十分でないように感じた。

裁判員選出の手続や素人が裁判に関わることに對する裁判所の事務量・負担が非常に大きいという印象を受けた。裁判員制度導入について, 裁判所が, 負担を含めて, どのような考へを持っているのかを知りたい。

裁判員が入ることにより, 刑事事件でメディアでは伝えられなかったことが世の中に伝えられ, 犯罪が減少するという効果があるのではないかと。

裁判員は, 刑事裁判で判断をすることに對して訓練を受けていない。そのような素人が人を裁くということは, 果たして, 公平, 公正な裁判の実現になるのか。

アメリカの陪審員のように裁判員が買収されるというような危険性もあると思われるが, そのようなことに対する対策は講じられているのか。

刑事裁判を行うためには, 裁判員の資質が問われると思う。裁判員を選任する手続きは, 抽選という無作為で行われるが, 人格や資質などを一切考慮せずに選任するという制度でよいのだろうか。判断される側からみて,

簡単な手続で選出された人に裁かれるのは不安である。

裁判員は、まず裁判用語でつまづくのではないか。裁判員制度は、国民の司法トレーニングの場のようにも見えるが、そのような目的があるとするれば、もう少し工夫が必要ではないか。選任通知が裁判員候補者に届いてから裁判員として手続きに関与するまでの間に、裁判についての勉強の場がないと不安である。

辞退事由の有無の判断は、裁判所が裁量的にしているのか、政令で各事由が細かく決められるのか。

仮に、裁判員として、一週間もの間、裁判に関与し、仕事ができないということになれば、国民としては、耐えられない。

裁判員が暴力団関係者の事件を担当することとなった場合、身の危険を感じるのではないか。そのような危険に対する対応をきちんとしてもらいたい。

裁判員制度の下では、国民はそれなりの責任を負うことが必要ではないか。国民が司法にこのような形で参加する制度は存在しなかった。このような制度ができたことを契機にして、国民が積極的に司法に参加していくべきだと思う。この制度の趣旨が薄まらないよう、裁判員制度が始まる前に積極的な意義を説明することが大切である。甲府では、裁判員制度を踏まえた法教育に力を注いでほしい。

辞退事由は、もっと緩和すべきではないか。宗教や信条などを異にする人がいるので、裁判員としての手続への関与を強制することには疑問がある。

裁判所では、裁判員候補者の呼び出しを1日当たり何人とする予定か。